

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市日野南地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

鎌倉街道を中心軸に、日野インターや上郷舞岡線、環状3号線などの幹線道路を中心とした道路網が形成され、大型商業施設や医療機関が数多くある主要駅（港南台、上大岡、大船駅）へのバス交通網が確保されているため住民の生活圏域は様々だが、全域にわたり坂道が多く高齢者の買い物や通院など、外出の妨げになっている。

代々住み続けている方が多い地域と昭和40年代の開発により宅地化した地域があり、開発時に転入した世代の高齢化が進んでいる。長く地域活動に携わってきた方々も高齢になり、担い手の世代交代が大きな課題となっている。

同時に分割された宅地に若い世代が転入されるケースや、2つの公務員住宅の閉鎖・縮小により分譲地の開発やマンション建設、高齢者施設の建設が進み、近年中に環境や現況が大きく変化する可能性がある。これらの変化を見据えながら今後の地域支援に対応していくことが必要と思われる。

相談件数はゆるやかに増加傾向で、認知症に関する相談や精神疾患が疑われるケース、介入が難しいケースが増えてきている。

今後若い世代の増加も予想される中で、高齢者や子育て世代共に支援体制の強化、障がい児者の支援体制の構築、更なる地域ネットワーク強化の必要性が感じられる。

#### (1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ◆ 広報「みなみのかぜ」を毎月発行した。当館の情報や福祉に関する様々な情報を取り上げ、幅広い世代に関心を持っていただき相談につながるケースも見られた。
- ◆ 様々な分野の情報を整理した。気軽に相談できる環境を整え、速やかに情報提供ができるよう心掛けた。
- ◆ 専門性の高い相談については必要な情報提供を行うと共に、所内専門職や専門機関等と連携して支援に努めた。
- ◆ 一部の連合未加入の地域、自治会町内会に属さないマンション等には、身近な相談窓口であるケアプラザの機能周知が十分とは言えず、次年度に取り組むべき課題と考えている。また、時代のニーズに合わせて広報紙やホームページ以外の情報発信ツールの活用も検討してゆく。

## (2) 各事業の連携

- ◆ 包括3職種、コーディネーター2職種と所長による5職種連携会議、所内各部署の代表による事業連絡会議を月1回開催し、情報共有、課題検討に努めた。
- ◆ 所内での共催事業の開催、また、他職種主催事業への参加を通じて互いの動きを理解し、各職種の特性を活かした役割分担を行いながら地域特性やニーズの把握、課題の整理に努めた。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ◆ 職員育成では、研修の年間計画を作成し、各事業とも積極的に外部研修に参加しスキルアップに努めた。研修で得た情報や知識を伝達研修として事業内および事業間で共有する仕組み作りが必要であるため次年度の取組課題とする。
- ◆ 職員体制は地域ケアプラザに定められた人員を配置し、欠員していた生活支援コーディネーターを7月から補充することができた。
- ◆ 福祉保健の拠点として、公正中立を保ち、事業の運営に取り組んだ。

## (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ◆ 担当地区で行われる会議、専門性の高いネットワークの連絡会に積極的に参加し、様々な専門機関、各種団体との関係構築に努めた。
- ◆ 身近な地域づくり計画である第3期地域福祉保健計画の取り組みに、地域の各種団体が参画できるよう働きかけ、日野南地区では「スポーツフェスタ」、日野地区では「健康ウォーキング」を通じて委嘱委員との繋がりを一歩前進させることができた。また、消費生活推進員の取り組みである障がい者を対象とした「ネットトラブル・悪質商法講座」の実施を支援した。
- ◆ 自主事業「障がい理解啓発講座」をきっかけに日野中央高等特別支援学校、港南区生活支援センターとの新たな関わりが生まれ、地域住民との交流、共催事業の実施に繋がった。
- ◆ 地域住民を対象とした施設見学、高齢者施設へのボランティア派遣などにも積極的に取り組み、地域と施設、ケアプラザの関係構築に努めた。

## (5) 区行政との協働

- ◆ 担当地区の地区別計画推進の事務局として支援チームで方向性を確認しながら、第3期地域福祉保健計画の推進と中間年の振り返りを支援した。
- ◆ 障がい児者や子育て支援事業に関しては、講師の選定や企画運営において区役所の専門職、区社協の協力を得て、専門性の高い事業を実施することができた。
- ◆ 日野地区、日野南地区の支援チームに所長、5職種で参加した他、区役所、区社協、地域包括支援センターで定期的にカンファレンスを行った。区役所の専門職や区社協と情報交換、共有を重ねて相互の役割、強みを理解し、個別支援から地域支援に発展させることを意識しながら連携して地域課題の解決に向けて取り組んだ。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ◆30～50歳代を対象としたヨガ講座、小学生と保護者を中心に参加者を募った災害時サバイバル体験など、施設利用の少ない世代に向けた事業を展開してケアプラザの周知の機会を作った。特にサバイバル体験では災害時の対応や助けあいに関心を持ってもらえるよう働きかけた。
- ◆事業の実施では、多くのボランティアや施設利用団体と関わりを持ちながら企画運営を進めた。主体的に関わる方も増えており、事業の充実度や参加者の満足度の向上にも繋がっている。
- ◆「障がい理解啓発講座」では、要望の高かったグループワークをプログラムに取り入れ、より理解を深めることに繋がった。
- ◆参加者の獲得が難しい事業もあり、地域アセスメントやニーズの見直しを図りながら次年度の事業を検討する。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ◆「秋のコンサート」「クリスマス作品展」など、施設利用団体の活動披露の機会を提供し、やりがいを感じながら活動が継続できるよう支援した。健康体操の団体の体験会として「健康チャレンジ♪体験&交流会」を開催した。8団体が参加し、新メンバーの獲得、活動の活性化に繋がった。
- ◆福祉保健協力団体を地域の活動団体として広く紹介するツール「活動紹介シート」を考案し、ボランティア派遣や参加希望者への紹介に活用した。
- ◆若い世代の施設利用が増え、夜間の稼働率が上がってきた。ケアプラザ設置の意義を伝えながら福祉保健活動に関心を持ってもらえるよう働きかけた。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ◆自主事業のミーティングに参加して企画運営に主体的に関わってもらうことで、ボランティアのスキルアップ、意欲の向上につなげた。
- ◆地域デビュー講座OB男性の活躍の場として、近隣中学校に技術科の授業サポートを提案し、依頼を受けて7名のボランティア活動につなげた。
- ◆施設外での活動については、過去の派遣先の施設に状況を確認しながら活動の継続を支援した。また、新たな活動場所の開拓に努めた。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ◆福祉保健協力団体の活動紹介シートによって各団体の情報整理ができ、地域資源としてケアプラザ内外への有益な情報提供ツールになった。
- ◆活動者の集いの場である「交流カフェ」や、地域の居場所、サロンなどの施設見学、研修に参加して情報収集に努めた。様々な活動者と繋がり、事業協力の要請や担当地域での相談に対する情報提供に活かすことができた。
- ◆毎月発行の広報紙「みなみのかぜ」では、福祉に関するマークの紹介と生活支援体制整備事業の取り組みを紹介する新コーナーを設け広く情報を発信した。問合せや反響もあり多くの方に興味を持ってもらうことができた。
- ◆情報の行き届かない地域へのケアプラザの周知、時代のニーズに合わせた情報提供の検討を次年度は重点的に進める。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ◆月1回の5職種会議で、各職種が保持する情報を共有した。共有することで地域支援の目標が明確になった。  
生活支援からはサービスBにおける包括の役割の追加点などを提供した。包括の相談事例を通して地域ニーズを把握することができ、お互いの特性を理解しながら支援の在り方などを検討することができた。
- ◆まずは地域の実態把握に努めるため職種を越えてそれぞれが行っている事業に積極的に参加したことで、地域住民との顔の見える関係づくりが進み、地域課題の把握につながった。
- ◆生活支援体制整備事業についてチラシや広報を活用し周知に努めた。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ◆日野南地区・日野地区のネットワーク連絡会や地域づくり、意見交換会、民児協の定例会、会館開放などに参加した。積極的に地域と関わりを持つよう努め、ニーズの把握、地域の現状・特徴の把握を行った。
- ◆包括の相談支援に同行し、日野南地区の高齢者宅の実情やニーズの把握に努めた。
- ◆Ayamuの情報整理を行い、サロンなど地域に点在している社会資源がマップで見られるように更新したことで区役所との情報の共有につながった。

#### (3) 連携・協議の場

- ◆包括と連携し、地域の実情についてのマッピングを一部の地区で試行し協議体とした。個別支援による属人的な経験値の可視化が、組織内外に対する情報共有に極めて有効であることがわかった。
- ◆見守り事業所について、日野地区で25件、日野南地区で45件（日野南地域見守り協力隊）の登録を得た。
- ◆介護事業所連絡会を開催し、個別に事業所との協議体を進め、事業所が地域とつながり社会貢献ができる場を作った。地域の活動を事業所が支援してくれる体制がとれ、会館開放時の送迎や機能訓練を来年度から一年間行うことになった。
- ◆地域の意見交換会に参加し、地域の方々の普段はなかなか聞けない声を聞く事ができた。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ◆地域ケア会議の開催に関する研修に参加しスキルアップに努めた。
- ◆地域ケア会議の開催について5職種で検討し、介護事業所とのケア会議を行った。
- ◆横浜市主催のコーディネーター初任者研修などで他区の生活支援コーディネーターや他職種と情報交換を行った。
- ◆サービスBの説明会や意見交換会に参加してサービスBについて学んだ。
- ◆見守り協力事業所の登録促進でエリア内の事業所を積極的に尋ねて事業の必要性を伝えた。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ◆ 地域ネットワークの活性化のために地域にあるサービス事業所連絡会を2月に開催した。生活支援コーディネーターと連携し、次年度は定期開催ができるよう取り組む。
- ◆ サービス事業所、地域ネットワーク（各協議体、町内会、ボランティア組織等）、関係諸機関に情報提供を続けることで、効果的に情報共有がきるよう取り組んできた。次年度も各種会議への参加や事業所との日常的なやり取りを通じて情報収集を行ない、適切な形で情報提供を行う。

#### ② 実態把握

- ◆ 地域住民の総合相談窓口として、個別支援では電話相談だけでなく可能な限り訪問や面談を行い高齢者（世帯）の生活実態の把握を行うことができた。次年度以降も個別相談では訪問面談を中心にを行い、生活課題や地域課題の発見に努める。
- ◆ 各地区民児協や福祉ネット等の会議に継続的に参加したことで、地域住民から地域で心配な方や支援が必要と思われる方の情報を得ることができた。地域住民との信頼関係を深める取り組みを行う。

#### ③ 総合相談支援

- ◆ 職員の専門性の向上のため、外部研修への参加、各職種部会の活用、資格の更新・取得を積極的に行った。
- ◆ 行政、事業所、地域との連携を重視し、訪問・面談に積極的に取り組み、個別支援への対応体制を維持することができた。

### (2) 権利擁護業務

#### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ◆ 地域住民向けに権利擁護に関する講座を実施し、成年後見制度、消費者被害等の啓発を行った。
- ◆ サポートネット会議に参加して、個別事例を通して申し立て支援等のノウハウを蓄積することができた。

#### ② 高齢者虐待への対応

- ◆ 虐待が疑われるケースについては区役所やサービス事業所、ケアマネジャーと連携し、早い段階から情報共有を行い役割分担しながら解決に向けて支援していくことができた。

### ③認知症

- ◆地域のキャラバンメイトと協力して認知症サポーター養成講座の企画・運営を行った。
- ◆認知症家族の会（あひるの会）の継続を支援し、家族介護者の精神的支援を行い、認知症高齢者の虐待を未然に防止することができた。
- ◆認知症の講座に協力するなどして自主事業化した認知症カフェの後方支援を行った。

## （３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ◆日野地区・日野南地区合同で民生委員とケアマネジャーの懇談会を開催した。みずほクリニックの院長先生に講義を依頼して在宅での看取りについて学び、民生委員とケアマネジャーのお互いの活動や役割、連携についてのグループワークを通して理解を深める支援が行えた。（2/20 民生委員 28名 ケアマネジャー18名）
- ◆初級ケアマネ講座、民生委員とケアマネジャーの懇談会で「民生委員とケアマネジャーの連絡票」の活用を呼びかけた。活用についての認識が不十分なため次年度以降も周知に努める。
- ◆住民参加型や各地域の福祉ネットワークの活動について、懇談会や介護予防ケアマネジメント講座の中で情報提供を行い、必要な社会資源をケアプランに活かせるように働きかけた。

### ②医療・介護の連携推進支援

- ◆主マネ分科会共催で医療と福祉のネットワーク「医福ネット」を年 3 回開催した（4/19 143名、10/18 186名、2/28 190名）。心疾患、脳卒中、精神疾患など専門医の講義と懇親会では、医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめ多くの医療関係者と福祉関係者が共に学び連携を深める良い機会となった。
- ◆エリア内に開業した在宅診療の医師に「民生委員とケアマネジャーの懇談会」での講師を依頼し、ケアマネジャーと医師を繋げた。
- ◆区の見守り訪問事業と併せて、地域住民や生活支援コーディネーターと共にエリア内の医療機関や薬局の個別訪問を行い、地域包括支援センターの役割の周知やケアマネジャーとの連携が取りやすくなるよう働きかけた。

### ③ケアマネジャー支援

- ◆事業所訪問を行い、適切な介護サービスが提供できるよう情報交換、知識向上のための研修会、勉強会への参加を促した。
- ◆包括 3 職種の専門性を活かしてケアマネジャーの担当する困難ケースについてアドバイスや必要に応じて同行訪問を行った。
- ◆区内主任ケアマネジャー分科会の共催で、ケアマネジャー向きの講座を開催した。（施設見学会 4 日、初級講座 5 日間、中級講座 2 日、ケアマネサロン年 10 回）
- ◆ケアマネジャーの自主勉強会グループの後方支援を主任ケアマネジャー分科会で輪番で行った。（年 3 回担当）
- ◆ケアマネ連絡会の後方支援を区内主任ケアマネジャー分科会共催で行った。連絡会開催の情報を提供し参加を促した（開催年 6 回 担当年 1 回）。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ◆個別課題の見守りや居場所作りなど地域住民と共に考え検討を行った。
- ◆多職種で個別ケースや地域課題について検討できる地域ケア会議を日野南地区で開催し、地域住民と協働して「ささえあいマップ」作りに取り組むことができた。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ◆役割や生きがい等の視点を持ち住み慣れた地域で生活が続けられるように、評価しやすい目標指向型のケアマネジメントとするために目標を具体的な内容とした。また、インフォーマルな地域の取り組みを提供した。
- ◆委託ケースの担当者会議に積極的に参加し、情報提供・交換・共有を図った。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ◆ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防の内容で講座を実施した。栄養改善・口腔機能向上の関心度がやや低いため、ロコモ予防をベースに組み合わせるなど工夫した。
  - ・健康づくり！いろは塾 2018（5月～7月 全5回 参加延べ人数:165名）
  - ・音楽で脳活性化！～ドレミで10歳若返り（10月 参加人数:34名）
  - ・健康体操！～楽しく身体を動かそう～（10月 参加人数:26名）
  - ・元気でいるゾウ！健康体操（10月 11月 全2回 参加延べ人数:45名）
  - ・スリーA脳活性化リハビリゲーム（11月～12月 全3回 参加延べ人数:75名）当法人で社会貢献の一環として送迎支援を行った金井町内会館では、虚弱な方向けの健康体操を実施し、要支援認定を受けた方の参加があった。音楽療法では、認知症予防を中心に口腔機能向上・計算能力・発声機能等、高齢者にとって有効な内容を楽しみながら実践した。ケアプラザでのスリーAの参加者から「住んでいる町内会でもあったら良い」という声を受けて日野第三町内会館でスリーAを開催した。
- ◆2か所目の元気づくりステーションでは、各々の参加者が役割を持ち、生き活きと活躍できる居場所になった。
- ◆集いの場や講座に参加したくてもできない虚弱高齢者の実情把握が十分にできておらず今後の課題である。

## 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- ◆日中活動との連携を意識し、日常清掃業務を障がい者日中活動支援事業と契約し、館内の美化に努めた。
- ◆毎月、専門業者による定期清掃を実施し快適な環境づくりを維持した。
- ◆建物周りの植栽はシルバー人材センターを活用し、定期的に剪定を行った。契約以外の部分は職員が適宜行った。
- ◆建築及び設備関係は日常的に館内巡視を行い、施設の破損箇所や故障箇所を早期に発見し修繕に努めた。
- ◆夜間の施設管理は警備会社と委託契約をし、安全・防犯管理に努めた。不審者の侵入対策のため110番通報装置を設置した。
- ◆感染症対策として、年間を通して玄関入口・トイレ及び各部屋には手指消毒剤を設置している。
- ◆法人全体で感染症予防・対策に関する研修を実施した。

### (2) 効率的な運営への取組について

- ◆経理・労務などの事務処理は、法人本部と役割分担を行い業務の効率化に努めた。
- ◆朝の全体ミーティング、社内メールを活用して迅速な情報共有を行った。
- ◆ムリ・ムダをなくし、資源の有効活用に心がけた。
- ◆施設間の連絡は同一の通信会社を活用し通信費の削減を行っている。
- ◆ケアプラザ内部事業間連絡会議を毎月定例で開催し、活発な意見交換が行える環境を作り、情報共有、役割分担等を行うと共に、ヒヤリハット・ミス・事故の共有を行い事故再発防止に努めた。

### (3) 苦情受付体制について

- ◆苦情解決担当・責任者を配置し、第三者委員を設置している。
- ◆受付カウンターに「ご意見箱」を設置し、いつでも誰でも意見・要望・苦情を伝えられるようにしている。
- ◆サービスや事業における「利用者アンケート」を適宜行い、適切な運営ができるように努めた。
- ◆苦情解決に向けたマニュアル、仕組みを法人全体で構築している。苦情が入った場合は速やかに記録に残し、原因・分析を図るよう徹底した。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ◆施設内及び周辺巡回点検を行い、閉館後は警備会社と委託契約し防犯に努めた。
- ◆防災訓練を年2回（5月・11月）実施した。災害発生時に迅速適切な対応ができるように自衛消防隊を編成している。
- ◆防災訓練では貸館利用者にも避難経路の説明を行い参加の協力を依頼した。
- ◆福祉避難所としてアマチュア無線の方の協力を得て、デジ簡無線の使用練習を行った。
- ◆2月に港南台消防署の協力のもとAED研修を実施した。
- ◆法人全体では危機管理委員会を隔月で実施し、ケアプラザ所長と職員が委員として参画している。



(5) 事故防止への取組について

- ◆事故防止マニュアルを整備している。日常業務のなかでチェックリストを活用し館内点検を行った。
- ◆毎朝のミーティングで事故・ミス・ヒヤリハットを確認、共有し、繰り返し同じミス等を起こさないよう努めた。
- ◆消費期限切れ食品の提供、ファクス誤送信の事故が発生した。再発防止に向けて管理体制を強化した。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ◆法人が取り扱う個人情報の重要性を認識し、「個人情報保護管理規定」「個人情報保護に対する基本方針」に基づき、利用者等の個人情報の保護に努めた。
- ◆職員の入職時には必ず個人情報保護に関する説明を行い、秘密保持誓約書を提出義務としている。個人情報保護に関する研修では職員全員を対象に実施した。
- ◆個人情報を含む郵便物送付は2名以上の職員で確認票を用いて内容・宛名を二重確認した。  
ファクスでのやり取りは最小限に留め、送信の際は個人が特定される情報は必ずマスキングを行い、二重確認のうえ送信するよう努めていたが誤送信の事故が発生した。再発防止に向けて管理体制を強化した。
- ◆情報を外部へ持ち出す時はデータを最小限に留め、持ち出し及び返却時に指定様式を用いて第三者の確認を行った。
- ◆個人情報が入った媒体は必ず鍵が掛かる書庫にて保管し、電子媒体はパスワードを設定して管理した。

(7) 情報公開への取組について

- ◆事業計画・事業報告はいつでも閲覧できるように受付カウンターに設置した。また、法人ホームページに計上し、随時更新した。
- ◆広報誌やチラシを活用し、常に新しい情報を提供した。
- ◆相談記録等は開示が求められた際に速やかに対応できるよう整えた。

(8) 人権啓発への取組について

- ◆権利擁護に関する内部研修を実施した。啓発講座を開催し、地域住民向けの人権啓発にも取り組んだ。
- ◆当ケアプラザの特性を活かし、そよかぜ南の家の活動として、日常的な販売や清掃活動、地域行事での販売等を通して地域住民と積極的に交流し、理解啓発促進と障がい者の社会参加、生きがいに努めた。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ◆資源ごみの徹底した分別収集を行い、再生利用できる資源は有効活用した。
- ◆カーテンやブラインドの有効活用を薦め、冷暖房を適正温度に設定した。
- ◆節水・節電をこまめに行い、特に電力の消費については、使用していない部屋の消灯、パソコンや複写機の電源をオフにする等、省エネルギーに努めた。
- ◆送迎車両のアイドリングストップを心がけ、燃料節約と排出ガス削減に努めた。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

看護師兼管理者 1名  
主任ケアマネジャー 1名  
社会福祉士 1名  
介護予防プランナー（介護支援専門員） 2名

#### 《目標に対する成果等》

役割や生きがい等の視点を持ち住み慣れた地域で生活が続けられるように、評価しやすい目標指向型のケアマネジメントとするために目標を具体的な内容とした。また、インフォーマルな地域の取り組みを提供した。

委託ケースの担当者会議に積極的に参加し、情報提供・交換・共有を図った。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

利用者負担はなし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の福祉保健関係者や介護保険事業所と連絡を密に取り、迅速に必要なサービスに繋ぐことができるように努めた。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	163	160	163	164	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	162	159	162	161	161

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤1名（管理者兼務）

《目標に対する成果等》

- ・研修や連絡会等で情報収集に努め、利用者・介護者の想いに寄り添った適切な介護サービスの提供を行った。また、行政や医療、各サービス提供事業所、地域との連携強化を図り、利用者一人一人に合った適切な自立支援を行ない、住み慣れた地域での在宅生活の継続に努めた。
- ・多様な事業者から総合的かつ効果的に利用者に提供されるよう、公正・中立な立場でマネジメントを行った。
- ・介護保険法令を遵守し、迅速かつ適切なマネジメントを行い、要介護状態になった際にも迅速な対応をし、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活が営めるよう居宅サービス計画（ケアプラン）作成した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

利用者負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・居宅サービス計画（ケアプラン）の作成では、適切な方法によるアセスメントの実施や家庭訪問、ケアプラン実施状況のモニタリング、サービス担当者会議の開催などを定期的に行い、適切なサービスの提供を実施した。
- ・区役所、地域包括支援センターに問題点や課題などについて積極的に相談し、また意見を求めるなど助言やアドバイスを取り入れることで、より良いケアマネジメントができた。
- ・介護保険・認定調査員としての業務では、適切で迅速な対応を行った。

《利用者実績》

【単位：人】

（）内は要支援

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30 (13)	31 (12)	32 (13)	34 (13)	39 (14)	43 (14)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
47 (16)	45 (17)	44 (15)	44 (15)	45 (15)	49 (16)

- 通所介護・認知症対応型通所介護 **対象外**
- 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 **対象外**

平成30年度「横浜市日野南地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,163,640	0	20,163,640	20,163,640	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	715,350	△ 715,350	
雑入	0		0	12,630	△ 12,630	
印刷代	0		0	12,630	△ 12,630	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	0	0	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）			0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	20,163,640	0	20,163,640	20,891,620	△ 727,980	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,258,000	0	12,258,000	12,358,971	△ 100,971	
本俸	8,972,000		8,972,000	8,799,946	172,054	
社会保険料	925,000		925,000	911,548	13,452	
手当計	2,173,000		2,173,000	2,432,981	△ 259,981	
健康診断費	33,000		33,000	20,276	12,724	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	145,000		145,000	171,648	△ 26,648	
その他	10,000		10,000	22,572	△ 12,572	
事務費	2,057,000	0	2,057,000	2,596,110	△ 539,110	
旅費	10,000		10,000	1,465	8,535	
消耗品費	500,000		500,000	367,439	132,561	
会議購入費	10,000		10,000	275	9,725	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	300,000		300,000	320,229	△ 20,229	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	900,000		900,000	1,472,044	△ 572,044	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	84,000		84,000	123,269	△ 39,269	
職員等研修費	10,000		10,000	2,196	7,804	
振込手数料	10,000		10,000	10,476	△ 476	
リース料	200,000		200,000	148,788	51,212	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	33,000	0	33,000	149,929	△ 116,929	
事業費	802,000	0	802,000	1,030,970	△ 228,970	
運営協議会経費	42,000		42,000	30,234	11,766	
指定管理料充当 事業	760,000		760,000	1,000,736	△ 240,736	
管理費	4,066,000	0	4,066,000	4,798,078	△ 732,078	
建築物・建築設備点検		0	0	48,632	△ 48,632	
光熱水費	1,400,000	0	1,400,000	1,940,041	△ 540,041	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,100,000		1,100,000	1,550,245	△ 450,245	
修繕費	474,000	0	474,000	461,243	12,757	
機械整備費	92,000		92,000	94,891	△ 2,891	
設備保全費	526,000	0	526,000	703,026	△ 177,026	
空調衛生設備保守	230,000		230,000	194,646	35,354	
消防設備保守	40,000		40,000	53,732	△ 13,732	
電気設備保守			0	14,429	△ 14,429	
害虫駆除清掃保守	27,000		27,000	27,677	△ 677	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	229,000		229,000	412,542	△ 183,542	
共益費			0	0	0	
その他	474,000		474,000	0	474,000	
公租公課	980,640	0	980,640	988,717	△ 8,077	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	988,717	△ 988,717	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	20,163,640	0	20,163,640	21,772,846	△ 1,609,206	
差引	0	0	0	△ 881,226	881,226	

自主事業費収入			0	715,350	△ 715,350	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	1,000,736	△ 1,000,736	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 285,386	285,386	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	0 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	0 使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	0

**平成30年度「横浜市日野南地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,525,000	0	23,525,000	23,525,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	170,400	△ 170,400	
雑入	0	0	0	55,434	△ 55,434	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	55,434	△ 55,434	
その他（提案時控除 法人負担分）	265,000		265,000		265,000	
<b>収入合計</b>	<b>29,730,000</b>	<b>0</b>	<b>29,730,000</b>	<b>29,690,834</b>	<b>39,166</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,002,000	0	26,002,000	23,930,251	2,071,749	
本俸	13,702,000		13,702,000	12,642,470	1,059,530	
社会保険料	3,408,000		3,408,000	2,827,651	580,349	
手当計	8,502,000		8,502,000	7,657,821	844,179	
健康診断費	55,000		55,000	29,506	25,494	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	335,000		335,000	755,066	△ 420,066	
その他			0	17,737	△ 17,737	
事務費	1,163,000	0	1,163,000	1,366,879	△ 203,879	
旅費	20,000		20,000	6,172	13,828	
消耗品費	150,000		150,000	69,479	80,521	
会議随費	1,000		1,000	275	725	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	220,000		220,000	97,842	122,158	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	798,671	△ 798,671	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	85,845	△ 35,845	
職員等研修費	5,000		5,000	72,370	△ 67,370	
振込手数料	5,000		5,000	9,800	△ 4,800	
リース料	15,000		15,000	39,528	△ 24,528	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	697,000	0	697,000	186,897	510,103	
事業費	1,484,000	0	1,484,000	634,309	849,691	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	
指定管理料充当 事業（包括）	394,000		394,000	182,113	211,887	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	163,458	△ 12,458	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	36,738	272,262	
管理費	1,081,000	0	1,081,000	1,275,382	△ 194,382	
建築物・建築設備点検	0		0	12,928	△ 12,928	
光熱水費	350,000	0	350,000	515,706	△ 165,706	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	350,000		350,000	412,076	△ 62,076	
修繕費	126,000		126,000	122,603	3,397	
機械警備費	25,000		25,000	25,223	△ 223	
設備保全費	131,000	0	131,000	186,846	△ 55,846	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	51,727	△ 1,727	
消防設備保守	13,000		13,000	14,283	△ 1,283	
電気設備保守	3,000		3,000	3,833	△ 833	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	7,357	△ 357	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	58,000		58,000	109,646	△ 51,646	
共益費			0	0	0	
その他	99,000		99,000		99,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>29,730,000</b>	<b>0</b>	<b>29,730,000</b>	<b>27,206,821</b>	<b>2,523,179</b>	
差引	0	0	0	2,484,013	△ 2,484,013	

自主事業費収入	0		0	170,400	△ 170,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	382,309	△ 382,309	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 211,909	211,909	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	



# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ミニデイサービス かっぱの会	高齢者	76228円 (地域交流 と按分)	地活	75700円	0	0	72028円	4200円 (保険代)	
	25名/1回		包括						528円
	700円		生活						
お茶のみサロン	高齢者	24038円	地活	22200円	0	0	12278円	11760円 (保険代)	
	25名/1回		包括						1838円
	100円		生活						
認知症予防教室スリーA そよかぜの会	高齢者	54220円	地活	52600円	0	0	41900円	12320円 (保険代)	
	25名/1回		包括						1620円
	100円		生活						
介護者の集い よくわかる 有料老人ホーム講座	地域の方	160	地活	0	0	0	160	0	
	30名		包括						160
	なし		生活						
介護者の集い 認知症の理解と支援	地域の方	11137	地活	0	0	11137	0	0	
	30名		包括						11137
	なし		生活						
シニアのための 断捨離講座	地域の方	160	地活	0	0	0	160	0	
	40名		包括						160
	なし		生活						
はじめて学ぶ 家族信託講座	地域の方	15130	地活	0	0	15000	130	0	
	40名		包括						15130
	なし		生活						
ひまわりホルダー	高齢者	-18860	地活	19900	0	0	1040	0	
			包括						0
	300円		生活						



# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うたごえサロン 「つばさ会」	地域	167271	地活	3,871	163,400	0	84,000	0	83,271
	886		包括						
	200 (1回あたり)		生活						
うたごえサロン 「日野南ハーモニー」	地域	97353	地活	11,753	85,600	0	84,000	0	13,353
	465		包括						
	200 (1回あたり)		生活						
ハッピーうたの会	地域	133617	地活	1,917	131,700	0	84,000	0	49,617
	673		包括						
	1000 (半年分)		生活						
男のセカンドステージ の生き方を探る	男性	135167	地活	167	55,000	80,000	16,200	92,562	26,405
	245		包括						
	2500/500(いずみの会)		生活						
男のセカンドステージの 生き方を探る(公開講座) 「指圧の心 母ごころ 押 せば 生命の泉わく」	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35		包括						
	0		生活						
男のセカンドステージの 生き方を探る(公開講座) 「音楽と落語の宅配便」	地域	18800	地活	0	18,800	0	18,800	0	0
	47		包括						
	400		生活						
いずみの会	いずみの会登録者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	190		包括						
	0		生活						
子育てまなび隊☆ 「はぐはぐ」	未就園児親子	26203	地活	12,703	13,500	0	16,568	4,349	5,286
	124		包括						
	1500		生活						
みんなのひろば 「ふらっと」	地域	26042	地活	10,042	16,000	0	0	15,962	10,080
	214		包括						
	200 (1回あたり)		生活						
小学生ボランティア グループ 「港南ケアブラキッズ」	小学生	10589	地活	10,589	0	0	0	1,631	8,958
	230		包括						
	0		生活						
トマトクラブ	地域	29007	地活	18,007	11,000	0	0	20,069	8,938
	162		包括						
	1000		生活						
障がい者のための認知症 予防講座 (スリーA) 「ロールケーキの会」	40歳以上の障がい者	15232	地活	232	15,000	0	0	2,621	12,611
	189		包括						
	100 (1回あたり)		生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
おやこコンサート 「親と子のカンガルー コンサート」	未就園児親子	4000	地活	4,000	0	0	0	0	4,000
	85		包括						
	0		生活						
ゆったりはじめてみよう 女性のための 初めてのヨガ	女性	32113	地活	15,613	16,500	0	23,387	0	8,726
	42		包括						
	500 (1回あたり)		生活						
ボランティア交流会	ボランティア登録者	53931	地活	53,931	0	0	0	0	53,931
	42		包括						
	0		生活						
テラスで水あそび	未就学児親子	2520	地活	870	1,650	0	0	0	2,520
	69		包括						
	50 (1回あたり)		生活						
日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家2018 みなみ・夏・まつり	地域	45959	地活	43,859	2,100	0	4,113	3,574	38,272
	250		包括						
	0		生活						
港南区学齢障害児 余暇支援事業 こうなんなつっこ2018	障がい児と保護者	22478	地活	478	2,000	20,000	9,500	7,172	5,806
	48		包括						
	1000/0		生活						
健康チャレンジ♪ 体験&交流会	地域	23020	地活	23,020	0	0	0	0	23,020
	75		包括						
	0		生活						
クリスマス作品展	地域	410	地活	410	0	0	0	0	410
			包括						
	0		生活						
イチゴパフェの クリスマスコンサート	地域	4000	地活	4,000	0	0	0	0	4,000
	57		包括						
	0		生活						
秋のコンサート	地域	17208	地活	17,208	0	0	0	0	17,208
	163		包括						
	0		生活						
子育てひろば	未就学児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1,661		包括						
	0		生活						
赤ちゃん教室	0歳児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	269		包括						
	0		生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
障がい児者理解啓発講座 「知ってみませんか 障がいのこと」	地域	27284	地活	27,284	0	0	20,000	1,500	5,784
	113		包括						
	0		生活						
障がい児のための親子サークル 「めばえ」 音楽であそぼう！	小学生までの障がい児 と保護者	5000	地活	5,000	0	0	0	5,000	0
	166		包括						
	0		生活						
あおぞら ウォーキング	地域	980	地活	980	0	0	0	0	980
	29		包括						
	0		生活						
港南台 キャンドルナイト2018	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
			包括						
	0		生活						
日野地域づくり 健康ウォーキング	日野地区住民	426	地活	426	0	0	0	0	426
	151		包括						
	0		生活						
日野中央美術部の 生徒が教える 「四万十バッグ」 ワークショップ	地域	3282	地活	3,282	0	0	0	2,080	1,202
	56		包括						
	0		生活						
男のセカンドライフ 大学校	70歳以下の男性	330	地活	330	0	0	0	0	330
	219		包括						
	4800		生活						
日野中央高等特別支援学校 の生徒と作る 「苔テラリウム ワークショップ」	地域	2574	地活	574	2,000	0	0	2,000	574
	18		包括						
	200		生活						
みんなで考えよう！ やってみよう！ 「サバイバル体験」	地域	19710	地活	14,310	5,400	0	3,000	16,602	108
	55		包括						
	100		生活						
ミニデイ サービス 「かつぱの会」	地域の高齢者	76230	地活	530	75,700	0	0	72,030	4,200
	371		包括	(包括と按分)					
	700(1回あたり)		生活						
お茶のみサロン	地域の高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	255		包括	(包括で管理)					
	100(1回あたり)		生活						
スリーA 認知症予防講座 「そよかぜの会」	地域の高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	519		包括	(包括で管理)					
	100(1回あたり)		生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
	高齢者見守り事業 ひまわりホルダー		高齢者	0	地活	0	0	0
65		包括 (包括で管理)	0					
300		生活						

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談会	<p>・地域の会議やサロンなどに定期的に参加させていただくことで、地域の方と顔の見える関係を作り、必要な時にすぐに相談に繋がるようにしていく。</p> <p>(内容)                      日野地区民児協・日野南地区民児協(第3水)日野町内会会館開放日(第2土)おしゃべりくらぶ(第2月)笑福会(第3金)金井こでまりネットワーク(第2木)金井町内会会館開放(毎月30日)日野第一連合五楽会(隔月)日野南地区ささえあい連絡会(年3回)                      日野地区社協チャリティバザー出張相談会 J A日野支店農協まつり出張相談会</p>	年間 82回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほうかつ出前講座	<p>・町内会・自治会の要望に合わせて介護保険制度・健康に関する事等の講座を行なう。高齢者が住み慣れた地域での生活が続けられるよう知識及び情報提供する。</p> <p>内容：①野村港南台港南つつじヶ丘自治会館                      「和楽会健康講座」                      ②日野南町内会館 保健の集い介護予防講座                      ③野村港南台港南つつじヶ丘自治会館                      「喜楽会健康講座」</p>	①5/7(1回) ②5/30(1回) ③1/7(1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
徹底解説 よくわかる有料 老人ホーム講座	<p>・地域で高齢者を介護する介護者または高齢者本人が有料老人ホームについての知識をもってもらふ事で、今後の生活の場についてのイメージが持てたり、選択の幅が広がったりすることが出来るよう講座形式で学びの場を提供した。</p> <p>内容：有料老人ホーム紹介センター相談員による講義                      質疑応答</p>	2018/4/26 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絶対役立つ！ シニアのための 断捨離講座	<p>・地域の方に高齢者の権利擁護についての意識を持っていただくために、将来のことを考えるきっかけになる断捨離の講座を開催する。</p> <p>内容：遺品整理アドバイザーの方に高齢期の荷物の整理について講義形式でお話しして頂いた。</p>	2018/5/31 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイサービス かっぱの会	・外出の機会の少ない高齢者の閉じこもり予防や家族が認知症家族の会に参加している間、要介護者に過ごす場として折り紙等の工作・健康体操・合唱・麻雀等多様なプログラムを楽しんで頂く。また、ボランティアによる手作りの食事を提供する。	毎月第2金曜日 10:00～14:00 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防 3Aそよかぜの会	・スリーの実践を通して認知症予防する。優しさのシャワーの理念のもと定期的な集いの場として仲間づくりができる。 ・明るく・あたまを使って・あきらめないを合言葉に指体操・リズム・太鼓と竹の演奏をする。最後にお茶とお菓子を召し上がりながらおしゃべりを通して仲間との交流を図る。	毎月第1・3木曜日 13:30～15:30 年間22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみサロン	外出の機会の少ない高齢者の活動の場・趣味を通じた仲間づくりの場としてサロンを行っている。参加者の好みに応じて麻雀・将棋・囲碁・カラオケ・ナンプレ等、多くのメニューを用意している。	毎月第4金曜日 13:00～15:00 年間10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症家族の会 あひるの会	・認知症の家族を介護している介護者が定期的に顔を合わせて情報交換を行い、認知症について、介護についての理解を深めていく機会を提供する。 *平成31年2月～自主化の方向で調整中である。 (内容) 近況報告を中心にした認知症の方を介護しているご家族の情報交換。 認知症の人と家族の会神奈川県支部世話人の田村加代子さんにご協力いただいている。	毎月第2金曜日 10時から12時  年間12回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい 認知症の理解と 支援講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方や実際に認知症のご家族を介護されているご家族に、認知症の症状や接し方について理解していただくことで、認知症に対する普及啓発を行なって行く。</li> <li>(内容) 川崎幸クリニック院長の杉山孝博先生による認知症の方への支援についての講義、質疑応答。</li> </ul>	平成31年7月9日 14時～16時 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野地区 日野南地区 認知症サポ ーター養成講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の理解を地域住民に広めるために、日野地区・日野南地区のキャラバンメイトと一緒に認知症サポーター養成講座の企画・運営を行なった。</li> <li>(内容) 認知症についての講義 寸劇 DVD上映 (認知症と向き合う)</li> </ul>	日野町内会 平成30年8月25日 ひのみなみささえ あい連絡会 平成30年9月8日 港南区シルバーク ラブ 平成30年11月22日 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小中学校対象 認知症サポ ーター養成講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生に認知症のことを知ってもらい、よりよい対応方法をみんなで考えて行くことができる様にしていく。</li> <li>認知症の方、介護されるご家族が住みやすい地域になるよう取り組んでいく。日野地区、日野南地区のキャラバンメイトと一緒に企画運営を行った。</li> <li>(内容) 認知症についての説明 (講義)、寸劇を中心に構成。</li> </ul>	日野南中学校 平成30年7月4日 小坪小学校 平成30年9月10日 日野南小学校 10月16日 日野小学校 10月20日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南陵高校 認知症サポ ーター養成講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生に認知症についての知識を持ってもらい、正しい対応ができるようにひとりひとりが考え取り組めることを目指して普及啓発を行なう。認知症の普及啓発を行なう事で本人や家族が住みやすい地域を作っていけるよう継続して取り組んでいく。</li> <li>(内容) 認知症についての説明 (講義)、寸劇、対応方法についてのロールプレイ等を組み合わせて実施。</li> </ul>	神奈川県立横浜南 陵高校 平成30年12月3日 平成30年12月17日 年2回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化事業	<p>・住み慣れた地域で過ごせるために、介護予防基礎知識の周知（ロコモ予防・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防）の理解と実践をする。</p> <p>・事業を通して集いの場づくりの動機付けを意識する。</p> <p>内容：①健康体操2018！&amp;ウォーキング ②音楽で脳活性化！～ドレミで10歳若返り～ ③健康体操～楽しく身体を動かそう～ ④シルバープランニング講座「元気でいるゾウ」 ④～心も身体もしなやかに～ 脳活性化ゲーム</p>	<p>①5/18・6/1・15 6/29・7/6 (5回)</p> <p>②10/2 (1回)</p> <p>③10/30 (1回)</p> <p>④10/23・11/13 (2回)</p> <p>⑤11/12・26 12/10 (3回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援事業	<p>・住民主体で行なわれている元気づくりステーションの活動がより活性化するよう区役所と連携を図り支援する。</p> <p>内容：①日野南地区 「日野南ひだまりの会」 ②日野地区 「筋トレ！日野すまいるクラブ」</p>	<p>①毎月第1・3 火曜日 (23回)</p> <p>②毎週木曜日 (42回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひまわりホルダー事業	<p>・65歳以上の高齢者が外出先等で体調不良なった場合、あらかじめ登録しておくことで緊急連絡先の家族に円滑に連絡が取れるようにする。元気なうちからケアプラザを知っておいてもらい、いざという時相談しやすい関係を作る。</p> <p>(内容) ひまわりホルダーの登録と登録情報の保管、緊急時保管情報の適切な提供。</p>	随時



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえサロン 「つばさ会」	<p>(目的) 地域の方々が一緒に歌ったり、交流できる場を提供することにより、閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出できる場としてもらう。若い世代には古くから歌い継がれてきた曲を知ってもらうきっかけとしてもらう。</p> <p>(内容) ・椅子に座ってできる体操 ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・茶話会 ・5月および1月は、第2木曜日に変更</p>	毎月第1木曜日 9:30～11:30 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえサロン 「日野南 ハーモニー」	<p>(目的) 閉じこもりになりがちな高齢者にとって外出ができ、交流が図れる場としてもらう。 デイサービスや夏まつりでの発表などボランティア活動を体験し、生きがいを感じてもらう。</p> <p>(内容) ・ピアノの伴奏に合わせて歌う ・数曲を集中して練習しハーモニーを楽しむ</p>	毎月第4月曜日 13:00～15:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッピー うたの会	<p>(目的) 地域の方々がフォークソングを中心に懐かしい歌を歌って心身の健康と交流を図り、閉じこもりになりがちな高齢者の外出の機会としてもらう。</p> <p>(内容) ・ピアノやギターの伴奏に合わせて歌う ・先生の演奏を楽しむ</p>	毎月第2木曜日 13:30～15:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る	<p>(目的) 地域に住む男性の方がセカンドライフを充実させるために、地域の仲間とふれあう機会をもっと増やし、喜び楽しんで共に生きていく仲間を身近に見つける。そして、その中で、お互いに助け合い支えあって、地域のために奉仕する喜びを味わうことができるようになる。</p> <p>(内容) ・講演会、陶芸、料理と懇親会、落語、健康講座、ウォーキング、など</p>	6月23日 7月28日 8月25日 9月22日 10月27日 11月24日 12月11日(火) 12月以外第4土曜 午前中 全7回 1コース

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る (公開講座) 「指圧の心 母ごころ、おせば生命の泉湧く」	(目的) 男のセカンドステージの生き方を探るの公開講座。多くの方が興味関心を持つテーマの講演を、対象を限定せずに広く住民に提供し、セカンドライフに関心を持つきっかけとする。  (内容) ・指圧道師範による健康の秘訣や指圧道名人の言葉を語り、自分で出来る指圧を伝授する。	6月23日(土) 10:00~12:00 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のセカンドステージの生き方を探る (公開講座) 「音楽と落語の宅配便」	(目的) 男のセカンドステージの生き方を探るの公開講座。多くの方が興味関心を持つテーマの講演を、対象を限定せずに広く住民に提供し、セカンドライフに関心を持つきっかけとする。  (内容) ・音楽家兼落語家を招き、生の音楽や落語を楽しむ。	9月22日(土) 9:30~12:00 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみの会	(目的) 「男のセカンドステージの生き方を探る」を企画することで地域での仲間作りの一助とし、地域活動に参加するきっかけとする。  (内容) ・定例会の開催 ・男性同士の交流 ・講座の企画	毎月第2金曜日 18:30~20:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てまなび隊 ☆ 「はぐはぐ」	(目的) 未就園児の母親が、様々な体験を通して子育てについて楽しく学べる講座として実施。情報収集及び情報交換、交流の場として提供。  (内容) ・親子ヨガ、わらべ歌、栄養のお話、救急法、手形足型アート、おやつづくりなど ・茶話会 ・参加者同士の交流	9月21日 10月5日 10月19日 11月2日 11月16日 11月30日 いずれも金曜日 全6回 1コース

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなのひろば 「ふらっと」	<p>(目的) 赤ちゃんから高齢者、ハンディのある方まで様々な世代が集まり交流出来る場を通じて外出や仲間づくり、地域活動に関心を持ってもらうきっかけとする。</p> <p>(内容) ・ダンス ・毎月のテーマに沿ったイベント ・食に関する話題提供「食を伝える」 ・お誕生会 ・おやつタイム</p>	毎月第4木曜日 10:00～12:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ボランティアグループ 「港南ケアプラザキッズ」	<p>(目的) 気軽にできる活動を通して、小学生にボランティア・福祉保健活動に関心を持ってもらうきっかけとする。地域のボランティアにサポーターとして活動を支援してもらうことで、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) ・お楽しみ企画 ・ケアプラザ内でのボランティア活動 ・なつまつりの練習</p>	毎月第2日曜日 10:00～12:00 7月31日(日) 10:00～11:30 (8月のみ8/1) 年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トマトクラブ	<p>(目的) 畑作業を通して仲間づくり、世代間交流を図る。</p> <p>(内容) ・3階テラスの畑作業 ・畑を活用したボランティア活動 ・4月25日、8月8日は雨天のため中止</p>	毎月第2,4水曜日 10:00～12:00 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい者のための認知症予防講座 (スリーA) 「ロールケーキの会」	<p>(目的) 障がいのある方の余暇支援。外出・交流の機会とすると共に、介護予防を図る。</p> <p>(内容) ・認知症予防講座「スリーA」 ・太鼓の練習 ・茶話会 ・5月は19日、10月は13日、11月は10日に変更 ・「秋のコンサート」で太鼓演奏披露</p>	毎月第1土曜日 10:00～12:00 年12回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやこコンサート (親と子のカンガルーコンサート)	<p>(目的) 子育て支援の一貫として、普段生の演奏に触れる機会の少ない乳幼児と保護者に、音楽を楽しんでもらう場を提供する。</p> <p>(内容) ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート</p> <p>主催：日野地区民児協、地区社協 日野南地区民児協、地区社協</p>	<p>6月16日(土) 10:30開場 11:00～12:00 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりはじめて みよう「女性のための初めてのヨガ」	<p>(目的) ケアプラザを利用する機会の少ない30～50代の女性を対象に、自らの心身の健康を振り返る機会を提供。地域の仲間づくりと福祉保健活動に関心をもつきっかけとする。</p> <p>(内容) ・ヨガ、茶話会、健康相談 ・50代以上の方からの希望も多く、12月より年代の制限を外した4回コースを茶話会なしで追加実施。</p>	<p>①6月29日 7月20日 8月31日 ②12月7日 1月4日 2月1日 3月1日 いずれも金曜日 10:30～12:00 2コース</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	<p>(目的) 日頃よりお世話になっているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝え、活動の定着化を図る。ボランティア間の交流を図る機会とする。</p> <p>(内容) ・自己紹介、活動報告 ・ミニ講座「みんなで支える～障がいのある方の地域での暮らし」 ・昼食を取りながら交流、情報交換 ・避難経路確認</p>	<p>2月4日(月) 10:00～13:30 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
テラスで 水あそび	<p>(目的) 未就学児を対象として親子で一緒に、家庭ではなかなかやりにくい水遊び、手遊びなどの活動を通して親子の触れ合いの大切さを学ぶと共に地域での交流の場を提供する。</p> <p>(内容) ・3Fテラスにプールを出して水遊び ・雨天時は多目的ホールにてふれあい遊び ・協力園の保育士と一緒に子育て支援ボランティアに見守り、準備等で活動してもらう。 協力：赤い屋根保育園、港南台第二保育園</p>	<p>7月30日(月) 8月6日(月) 10:00～11:30 年2回</p>

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜市日野南地域ケアプラザ そよかぜ南の家 2018みなみ・夏・まつり	<p>(目的) 日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家を地域の方、事業所関係者などに知ってもらう機会とする。 ケアプラザの事業等に協力してくださっている方々の活動発表の場。</p> <p>(内容) ・わくわくチャレンジコーナー (工作) ・おはなし広場 ・ミニコンサート ・ゲームコーナー ・お風呂の見学会 ・ポップコーン販売 ・パン販売 ・休憩スペース「トマトカフェ」</p>	8月1日 (水) 10:00~14:00 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南区学齢障害児余暇支援事業 こうなんなつっこ 2018	<p>(目的) 障がい児や家族が地域住民、民生委員やボランティアと共に活動し、歓談する機会を通じてお互いに知り合いつながるきっかけとする。</p> <p>(内容) ・クッキーづくり、パラバルーン ・参加者全員でカレーの昼食 ・顔合わせ会は参加者が少ないため中止 ・保護者と民生委員のお茶べり会 ・9日は未就学児と保護者対象の「なつっこプチ」 テラスで水あそび、ホールで自由遊び</p>	8月3日 (金) 10:00~13:00 8月9日 (木) 10:00~12:00 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チャレンジ♪ 体験&交流会	<p>(目的) 施設利用団体の活動の活性化と地域住民と健康増進、交流の機会とすると共に、各団体のメンバー増員と、地域活動の担い手として福祉保健活動に繋ぐきっかけとする。</p> <p>(内容) ・今年度の団体交流会として開催 ・健康体操系8団体の活動体験 ・ポッチャゲーム、転倒危険度評価システム体験 ・登録団体紹介コーナー、活動紹介シート掲示</p>	10月29日 (月) 13:30~16:30 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス 作品展	<p>(目的) 手作りを楽しまれている施設利用登録団体の方たちの作品を展示し、日頃の成果を発表していただくと共に、ケアプラザを訪れる方たちにクリスマスの雰囲気を楽しんでいただく。</p> <p>(内容) ・手芸関係の施設利用登録6団体と、南の家障がい利用者の作品を受付カウンター前に展示</p>	12月5日 (水) ~12月25日 (火) 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
イチゴパフェのクリスマスコンサート	<p>(目的) 世代を超え、また障がいを持つ方など、日頃コンサートに行くことが難しい方々が音楽を聴き楽しむことができる。民生委員や地区社協の活動を知ってもらう機会とする。</p> <p>(内容) ・童謡、唱歌、最新のヒット曲まで、親子で一緒に楽しめるコンサート</p> <p>主催：日野地区民児協、地区社協 日野南地区民児協、地区社協</p>	12月16日（日） 10:30開場 11:00～12:00 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のコンサート	<p>(目的) 貸館利用団体や自主事業参加者の発表の場をすることでやりがいをもって活動してもらえるようにする。</p> <p>(内容) ・自主事業3団体と音楽、舞踊、武道関係の施設利用7団体によるコンサート。</p>	11月17日（土） 13:00～16:00 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。又、子育て支援者が養育者の相談に乗ることができる場としての利用。</p> <p>(内容) ・横浜市が委託した子育て支援者が養育者の相談に対応する ・港南区福祉保健センター主催</p>	毎週火曜日 (祝日を除く) 10:00～12:00 年51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤ちゃん教室	<p>(目的) 子育て世代が交流できる場を提供すると共に当ケアプラザを利用するきっかけとしてもらう。日野南1～7丁目で初めての出産を控えている妊婦さん、第一子を出産した養育者の育児相談及び親子の交流, 不安解消ができる場として提供。</p> <p>(内容) ・母乳栄養、離乳食、病気と予防、生活環境など育児に関する相談。 ・参加者同士の交流 ・港南区福祉保健センター主催</p>	毎月第4水曜日 (8月を除く) 10:00～11:30 年11回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児者理解啓発講座 「障がいのこと 知ってみませんか」	<p>(目的) 地域住民を対象とした障がい理解啓発講座。地域住民と障がいのある方、家族が地域の一員として知り合い、助け合える関係づくりの一助とする。</p> <p>(内容) ・当事者家族による講演。知的、発達障がいの特性と災害前に出来る備えを考える ・日野中央高等特別支援学校生徒との交流、ワーク ・精神障がいの基礎知識（精神福祉保健出前講座） 共催：港南区自立支援協議会／港南区生活支援センター</p>	6月28日（木） 7月2日（月） 7月18日（水） 13:30～15:30 全3回 1コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児のための 親子サークル 「めばえ」 ～音楽で遊ぼう～	<p>(目的) 心身に障害のある幼児および小学生と保護者の仲間づくり、交流の機会として活動する自主グループの活動支援</p> <p>(内容) ・音楽あそび（リトミック） ・自由遊び ・保護者の情報交換・共有 ・季節のイベント</p>	毎月第1土曜日 12:30～15:00 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のセカンド ライフ大学校	<p>(目的) 前期高齢者（70才以下）支援。港南区在住の定年退職後の男性を対象に、これからの生き方を考える切り口となる講座を開催し、仲間づくりや地域活動に関心を持つきっかけとする。</p> <p>(内容) ・港南区の魅力発見、落語と利き酒、体操 ・コーヒーの淹れ方、災害時の備え、エンジョイツアー ・振り返りとこれからに向けて 共催：港南区社協、区内ケアプラザ 協力：港南区役所</p>	10月5日（金） 10月19日（金） 10月31日（水） 11月9日（金） 11月20日（火） 12月4日（火） 12月14日（金） 主に9:30～14:00 全7回 1コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおぞら ウォーキング	<p>(目的) ウォーキングを通じた健康維持。自分の住む地域を知ることによって地域に愛着を持ち、仲間づくり、交流の機会とする。</p> <p>(内容) ・健康ウォーキング 「いたち川 小川アメニティめぐり」</p>	4月9日（月） 9:00～12:00 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キャンドルナイト in港南台2018	<p>(目的) 地域のイベントに協力し、他団体との交流、地域ニーズ把握の機会とする。また、地域の方にイベントの周知、協力を呼びかけ、自分の暮らす街への愛着を感じるきっかけとする。</p> <p>(内容) ・ イベントの周知と材料の回収 ・ 地域の子ども達、障がい者日中活動支援利用者等と卵キャンドル、牛乳パックランタンづくり ・ 当日の設営と見守り 主催：キャンドルナイトin港南台2018実行委員会</p>	<p>9月15日（土） 18:30～20:00 および事前準備 年1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野地域づくり 健康ウォーキング	<p>(目的) 日野地区第3期地域福祉保健計画推進事業。昨年度に引き続き、日野地区住民の健康づくり、交流のきっかけとして実施。また、ウォーキングの中で防災・防犯のポイント地点の確認を行い、防災に関心を持ってもらう機会とする。</p> <p>(内容) ・ 健康ウォーキング 「日野地区の会館めぐり第2弾」 「馬洗川せせらぎ緑道を歩く」 ・ 昼食を食べながら歓談、防災クイズ 主催：日野地域づくり連絡会</p>	<p>6月17日（日） 9:30～13:00 3月17日（日） 9:45～13:00 年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野中央美術部の生徒が教える 「四万十新聞バッグワークショップ」	<p>(目的) 高等特別支援学校生徒と地域住民との交流、活躍の場を提供すると共に、学校の周知や地域とのつながりづくり、障がい理解の一助とする。</p> <p>(内容) ・ 生徒による学校紹介 ・ 四万十新聞バッグワークショップ ・ 2回目は、生徒とボランティアによるお菓子づくりと懇親会も実施。 共催：横浜市立日野中央高等特別支援学校美術部</p>	<p>8月22日（水） 10:00～12:00 12月22日（土） 13:00～15:00 年2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日野中央高等特別支援学校の生徒と作る 「苔テラリウムワークショップ」	<p>(目的) 高等特別支援学校生徒と地域住民との交流、活躍の場を提供すると共に、学校の周知や地域とのつながりづくり、障がい理解の一助とする。「女性のための初めてのヨガ講座」参加者を主な対象者とし、参加者同士の交流の機会とする。</p> <p>(内容) ・ 学校紹介、苔についてのおはなし ・ 苔テラリウムワークショップ ・ ヨガ講座参加者の懇親会 共催：横浜市立日野中央高等特別支援学校グリーンサービスクラス</p>	<p>2月12日（水） 10:00～11:30 年1回</p>



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市日野南地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで考えよう！やってみよう！ サバイバル体験	<p>(目的) 自主事業「港南ケアプラキッズ」拡大版として実施。 小学生、保護者を中心に、広く地域住民に参加を呼び掛け、多世代で交流できる体験会を通じて、防災、減災に関心を持つきっかけとする。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難所運営ゲーム (HUG)</li><li>・サバイバルクッキング (ポリ袋料理)</li><li>・試食</li></ul>	3月10日 (日) 10:00~13:00 年1回